

10月12日(金)

第三セッション(午前の部のみ)
司会 ヤニック・バルディ(リール大学)
明治の近代化過程における神道と仏教

9.30
「神道の発明」
オレリアン・アラ(リール大学)

10.15
「日本仏教界における最初の欧州視察団とキリスト教との対峙」
ミック・デネケール(ベルギー ゲント大学)

11.00 休憩

11.15
パネルディスカッション「交差による比較アプローチとグローバルヒストリー枠組は人文社会科学の発展にいかにかに寄与するのか、しないのか」
参加者 町泉寿郎、谷口真子、ウィリー・ヴァンドウワラ、アンドリュウ・コビング、ベルランゲ河野紀子
墓丸謙(通訳)

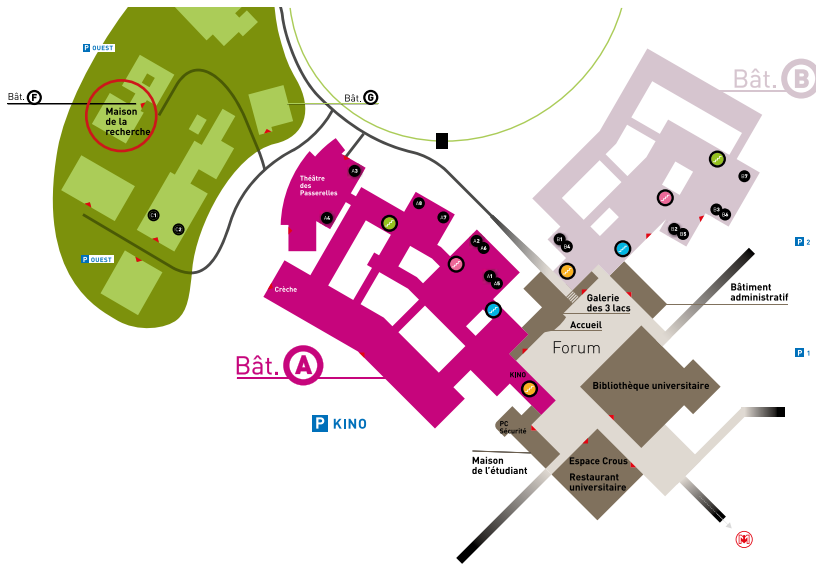
12.30 閉会の辞

12.45 昼食

コーディネーター

ベルランゲ河野紀子(フランス リール大学教授)

noriko.berlinguez-kono@univ-lille.fr



WASEDA University
早稲田大学

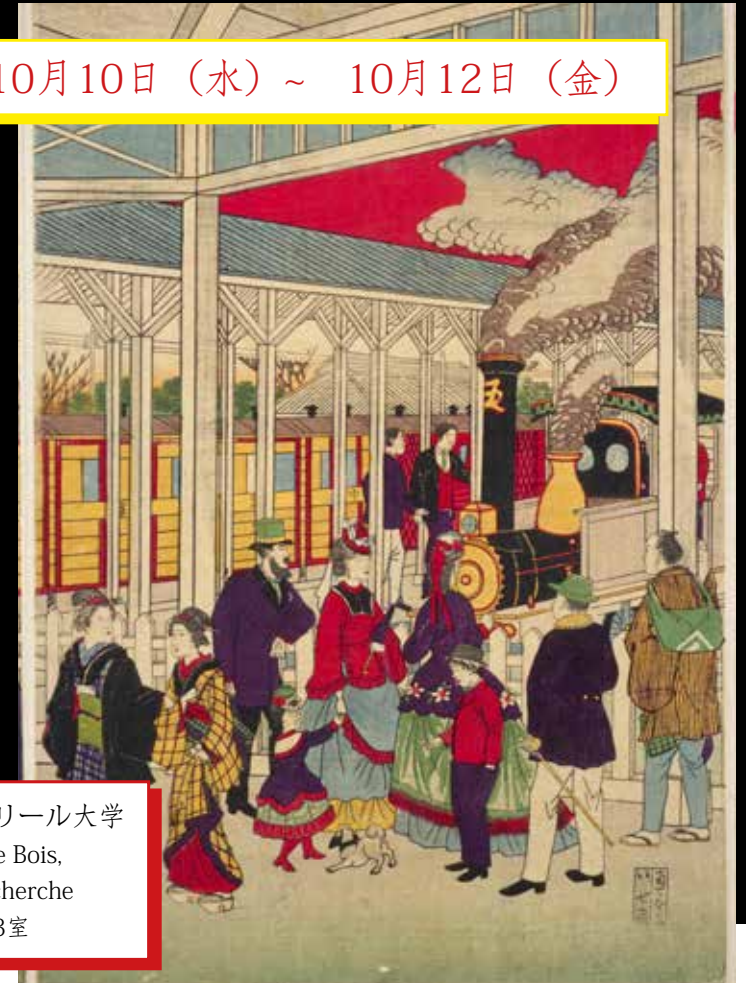
国際シンポジウム

「レオン・ドロニーの時代と日欧間の知の交流—漢籍、軍制・法制の制度知を中心に」

2018年10月10日(水) ~ 10月12日(金)



会場 フランス リール大学
Campus Pont de Bois,
Maison de la Recherche
研究棟 F.013室



明治維新150周年記念国際シンポジウム フランス リール大学主催(二松学舎大学共催、早稲田大学協賛)

10月10日(水)

9.30 開会の辞

ベルランゲ河野紀子
(リール大学)

第一セッション(午前の部)

レオン・ドロニー文庫の漢籍目録
をめぐって 1

司会 ウィリー・ヴァンドウワラ
(ベルギー ルーヴェン大学-KU
Leuven)

9.45

「レオン・ドロニー旧蔵の中国書
から見る東西の書籍文化交流」

町泉寿郎 (二松学舎大学)

10.30

「レオン・ドロニー蔵書の中国思
想文献について」

田中正樹 (二松学舎大学)

11.15 休憩

11.30

「レオン・ドロニー旧蔵の中国書
の特色について」

清水信子 (二松学舎大学)

12.15 昼食

13.45 午後の部 受付開始

第一セッション(午後の部)

レオン・ドロニー文庫の漢籍目録をめぐ
って 2

司会

町泉寿郎 (二松学舎大学)

14.00

「19世紀の東洋学者の書簡—ロニー、
クラプロートとジュリアンの手紙を中心
に」

マティアス・ヴィグル (二松学舎大学)

14.45

「十九世紀欧州の大学に於ける日本学の
黎明—レオン・ドロニー及びヨウゼフ・
ホッフマンを中心に」

ウィリー・ヴァンドウワラ (ベルギー ルー
ヴェン大学-KU Leuven)

15.30 休憩

15.45

「日本とヨーロッパにおける東洋学」

牧角悦子 (二松学舎大学)

16.30 質疑と討論

17.00 閉会(第一セッション)

10月11日(木)

9.00

第二セッション(午前の部)

制度知・法制・軍制の知の交流 1
司会 ベルランゲ河野紀子 (リール
大学)

9.30

「武力行使権のゆくえ-軍隊、警察
の創設と身分制社会の変容」

谷口真子 (早稲田大学)

10.15

「警察制度に関する知の交流をめぐ
って-1870年代ヨーロッパでの
視察団を中心に」

カトリーヌ・ドニ (リール大学)

11.00 休憩

11.15

「近代日本国家建設と軍事産業の
誕生」

エリザベート・ドウ・トウシェ (リール
大学)

12.00

「日本陸軍参謀本部創設における
お雇い外国人の影響・役割 (1868-
1894)」

グレゴワール・サストル (トゥールー
ズ大学)

12.45 昼食

14.15 午後の部 受付開始

第二セッション(午後の部)

制度知・法制・軍制の知の交流 2

司会 エリザベート・ヴァインベルグ=ドウト
ウシェ (リール大学)

14.30

「江藤新平著『図海策』(1856)を再読す
る—知のネットワークと制度知の思想枠
組」

ベルランゲ河野紀子 (リール大学)

15.15

「明治国家による西洋法継受と古賀廉造」

小野博司 (神戸大学)

16.00 休憩

16.15

「鯨島尚信とパリにおける日本の文化外
交」

アンドリュウ・コビング (英国 ノッティンガ
ム大学)

17.00 質疑と討論

17.30 閉会(第二セッション)